

文化圏



写真パネルにした世界の絵画や彫刻などの解説を展示した崇城大芸術文化コースの学科展＝熊本市中央区

◇「フード×アート～目で味わうアート～」展 17日、熊本市中央区の崇城大ギャラリーで始まった。26日まで。食と美術をテーマにした同大芸術学部美術学科芸術文化コースの学科展。1～4年の6人と教員2人が、レオナルド・ダビンチの「最後の晩餐^{さん}」やアンディ・ウォーホルの「バナナ」など世界の絵画や彫刻、映像など34点を写真パネルにして、作品の意味や作家の意図を解説。県内5カ所の神社の彫刻装飾を調査した報告もあり、細かな木彫技術が興味深い。